

2014年

9

月号

組合会報

〈発行所〉

埼玉県鍍金工業組合

〒331-0811

さいたま市北区吉野町 2-222-7

TEL 048 (666) 2184

FAX 048 (652) 7631

〈発行人・理事長〉

小林 満

〈編集人・総務委員長〉

井上 宣雄

—今月号の主な内容—

「時間」 小林満理事長	2	埼玉会 定期総会開催	7
第49回通常総会開催	3	埼玉会会長就任挨拶	9
全鍍連 平成26年度通常総会開催	5	水質汚濁防止法 改定のまとめ	9
総務大臣 新藤義孝衆議院議員と意見交換	6	ビジネスアリーナ2015ご案内	11



150号



時 間

理事長 小林 満



人間に公平に与えられたもの。それは時間だそうですね。そんな話を若いころ聞いたような気がする。そのころはそうだな、そのとおりだなと納得していたし、今もそう思い(信じているわけではない)行動をしている。

決して神は人々に時間を平等に与えてはいないのだが何と無く説得力のある言葉だった。一生というスパンで見ると若くしてこの世を去る人。老いて益々元気な人と与えられた時間はずいぶんと差がある。一方一日というスパンで見るとあながち間違っではないように思えてくる。このあたりの妙な感覚のずれが人に様々な思いを抱かせ行動を起こさせるのだろう。いつやるのか。今でしょう。これは一日スパンの考え方。いつやるのか。明日でもいいでしょう。ロングスパンの考え方。三十代にふと一日24時間は誰にも公平に与えられたもの。さればそ

の時間をどう使うかは自分次第とイキガツテ人より早く起き、タツタカと仕事をこなし酒も飲めないのに夜の街へとそんなことをしながら今になった。こんな自分勝手な人間と付き合い合われる人の迷惑をあまり考えもしなかつたのは反省しないといけないのかもしれない。人に寛容になれない自分がある。いつも(いつやるの、いまでしょ)のショートスパンの自分がある。少しロングスパンで(残りはそんなにロングではないと思うが)行動してみようか。いつやるの。明日でもいいでしょう。結構楽しいのかもしれない。こんな事を考えながらキーボード

を叩いている私にもう一年付き合ってください。
(現在、平日の午前4時)これから
出社します。
何も変わっていませんね。
26年7月のある早朝



技術研修センター落成式の様子 昭和46年4月12日
組合会報 NO.15より

第49回通常総会開催される



の辞を頂いた。

次に主催者挨拶を代表して小林満理事長より挨拶を頂いた後、議案審議に入り議長に柿沼義男氏・書記に渡辺順一氏が選任され議事に入った。はじめに、書記の渡辺順一氏より出席状況について本総会が成立条件を満たしていると報告があった。

第1号議案、平成25年度事業経過報告・財産目録・貸借対照表・損益計算及び剰余金処分(案)を島田幸昌専務理事並びに各委員長が報告。

第2号議案、監査報告を高岡彰次監事より報告があり、第1号・2号議案を一括審議、満場一致で承認された。

第3号議案、平成26年度基本方針並びに運営方針、事業計画(案)並びに収支予算(案)、承認の件

第4号議案、借入金金の最高限度額

決定の件を島田幸昌専務理事並びに各委員長が説明、満場一致で承認された。

第5号議案、その他では島田幸昌専務理事より組合因数の報告があり、本年度、新規加入企業はなく、退会企業は3社あり、正規組合員企業は82社、賛助会員27社との報告があった。全ての議案審議も滞りなく終了した後、吉田幸司副理事長より閉会の辞を頂き幕を閉じた。

この後、小休憩後、同会場隣の宴会場にて懇親会を開催し、和田忠宏総務副委員長の司会で始まり、閉会の辞を黒澤久副理事長よりご挨拶を頂いた。

「国のほうでは法人税減税の話が議論されているようであります。日本では35% ドイツが29% シンガポールに至っては17%と、日本も早く20%代にしていたら

いなと期待しているのは私一人ではないと思います。さて、小林丸になつてまる一年が経過したわけでございまして、たぶん長期政権になるかと思いますが、各役職を約15年やつておられる組合の生き字引きで、分らないことは理事長に聞きやつて参ります。経済環境は大変厳しい中で、当組合においても年数社退会する事業所もあるわけですが、言葉は大変乱暴ながら残存者利益ということ皆さん励んでいただきたいなと思います。」と述べた。

続いて、主催者を代表して小林満理事長よりご挨拶を頂き、

「先ほど第49回の総会が無事議案を審議し通過させていただきましたが、大変財務的には厳しい一年間だったなと言う気がします。今年一年間は緊縮予算の中で質を落とさずに運営をして行こうと、各委員さんには大変厳しい注文を出しております。是非皆様にご協力いただきこの一年間何とか無事に

埼玉県鍍金工業組合(小林満理事長)は平成26年5月27日午後4時00分より

パレスホテル大宮にて平成26年度第49回通常総会を開催した。

来賓をはじめ組合員・賛助会員多数出席のなか、井上宣雄総務委員長が司会を務めた。

初めに、黒澤久副理事長より開会



過ぎていてこうと思っております。先ほど副理事長の黒澤のほうから景気のことについてお話がございました。過日東京都・神奈川の総会に参加をさせていただきました。やはり多少明るさは出てきているけれども、実績としてまだまだだがつてきていないというのが実感でございます。この秋口付近にはなんとか明るい状況も見えてくるのかなと、それまでの辛抱ではなからうかと思えます。組合としても全力を挙げて情報の収集・

組合員が元気になる活動をして行きたいなと思っておりますので是非ひとつ皆様のご協力をお願いいたします。」と述べた後、
 埼玉県知事 上田清司様代理
 産業労働部 副部長 加藤和男様
 埼玉県産業技術総合センター センター長 牟田口照恭様
 埼玉県中小企業団体中央会 参事 渡部貞一様
 以上の来賓の皆様よりご祝辞を頂いた。
 続いて、全国鍍金工業組合連合会 会長 栗原敏郎様よりご祝辞を頂き
 「全鍍連は今地殻変動を起こそうと動いております。まず全国70数名の女性経営者の方で女性経営者部会を立ち上げました。埼玉県でも日本電鍍の伊藤社長様が監事をされ、女性経営者の感性で種々提言していただくことを活動の骨子として非常に活発に動いております。もう一つは埼玉県の組合広報を

いただきましたが、その中に第二回未来を担う若手の集いの記事が入っております。第1回目を昨年3月に名古屋で行いましたが、これを仕掛けたのは埼玉県ですか？そのネットワークを通じて東京・神奈川・愛知と広まり、FAX 1枚で60名超全国の若手が集まり、夜を徹して飲み・食べ・情報交換をされる熱気たるや凄いのがあり、これはもう捨てたものじゃない。全鍍連では毎年大体40〜50社が退会をされ現在全国で1428社となった訳ですが、殆どの退会理由が後継者不足です。しかしながら若手の方々頑張りを見ているとまだまだ全鍍連も先が明るい。先ほど黒澤副理事長様もおっしゃった通り残ったもの勝ち、若手の方がその旨味を享受するのかなという感じもいたします。皆様あつての全鍍連でございますので、要望を極力伺いながら、我々のほうから出来ることはどんなサポートしていくつもりなの

埼玉県鍍金工業組合懇親会



で、積極的に意見を挙げていただければと思います。」

そして、東京都鍍金工業組合 副理事長 荻宿充久様のご発声で乾杯、祝宴に入り終始和やかな雰囲気、中締め挨拶を今井昭雄相談役より頂いた後、吉田幸司副理事長の閉会の挨拶で第49回埼玉県鍍金工業組合 通常総会 懇親会を終了した。

全鍍連 平成26年度通常総会



5月28日 機械振興会館(東京都港区)にて平成26年度通常総会が開催された。

定刻の13・30から鍍金業界の物故者への黙祷を捧げた後、栗原全鍍連会長の挨拶では、各地で行われたためつき関連業界・各県組合で行われた総会の印象などに触れ、面白い話が増えつつある一方で、消費税転嫁の問題には来賓席の経済産業局の方に向け8%の消費税

は承認されたが同時に3%の値下げを求められたケース等の事例をあげて行政に対しては然るべき対応を望んでいる。そして海外への仕事流出に関しても、国内・海外どちらの企業さんに有利な情報やサポートを今後も全鍍連として行っていくので、ぜひご相談下さいと述べられた。

続いて栗原会長が議長となつて議案審議が進められた。各県組合からの賦課金の徴収方法に改訂がなされること等の予算に関わる議題から、前期・今期の事業計画の承認などが次々に可決承認を受けて大きな混乱もなくスムーズな進行により審議は終了した。

今年度の鍍金業界に長年大きく貢献をされたことを称える「岸賞」の受賞者は、神谷電化工業株式会社(東京都葛飾区)代表取締役社長 神谷博行氏 が受賞された。神

谷氏は、長年の組合事業の貢献は

もちろんであるが、「霞ヶ関見学デー」という国主催の子供向けイベントに平成21年よりめつき製品の展示・広報活動を行い、現在はその場で「めつき体験教室」を来場した子供たちにキーホルダーを用いて表面皮膜の仕組みを体験してもらうなど業界のイメージアップに貢献をされている。また全鍍連女性部会創設の礎を築かれたのも同氏である。神谷電化工業としても、幅広い他種多様なめつきを行い1点モノの仕事もこなしめつきの美しさ、素晴らしさを多くの方へ伝えたいという思いが、平成24年度葛飾ブランド「葛飾町工場物語」に認定され、同社の仕事を漫画で紹介する冊子に掲載されるなど活躍されている。

その後の懇親会では、経済産業副大臣の松島みどり議員の中小企業をバックアップしたい「小規模企業振興基本法」今年度成立予定」をぜひ活用して頑張つて欲しい

いというお言葉をいただく挨拶に始まり、来賓の関連団体関係者、業界関係者が挨拶をされた。全鍍連として、めつきの業界では女性部会や若手経営者の集いが開催されていることで新風が吹き始めこれからのめつき業界に明るい話題があった。乾杯の際には全鍍連名誉顧問の島村周作氏も登壇され、和やかな雰囲気でも全国から集まっためつき従事者がそれぞれ輪を作り歓談する光景は少しずつではあるが厳しい時代に対しても前向きに進んでゆこうという思いがあるように感じられた。



平成26年8月19日 新藤義孝総務大臣と意見交換



第2次安倍内閣(2012年12月26日成立)にて大臣ポストの中でも務めた歴代の政治家は今後政界を駆け上がることの多い、総務大臣に大抜擢・初入閣を果たした川口選出の新藤義孝大臣と総務省内の大臣執務室での意見交換する機会をいただいた。

今回、第7支部 大塚支部長の働きかけで実現し、小林理事長、島田



専務理事、第7支部メンバーなど10名程で訪問させていただいた。総務省へ到着後、組合の賀詞交歓会などでもお馴染みの新藤大臣秘書である吉田様にご案内をいただいた。

この第2次安倍内閣は戦後最長記録となる600日を全ての大臣がひとりも交代することなく、まもなくの内閣改造を迎えること

なった。

新藤大臣としては、初入閣ということもあり入閣当初の戸惑いなどもつい最近のように感じられるほど、この600日は忙しい毎日、あつと言う間だったと言う。

在任中は危機管理の面から9日しか川口の自宅にて就寝できなかったと話す大臣の顔には疲労感などは微塵もなくやる気と充実している日々を感じる精悍な表情が印象的であった。

安倍総理が抜擢した理由などから多岐にわたり公務時間が迫る中30分以上も時間を割いてくださり、新藤義孝という政治家の本音と未来をお伺いすることができ、大変有意義な意見交換会の場となった。

我々めつき業界において取り巻

く問題も多く、今後ますます活躍が期待されている新藤大臣の頭の中に埼玉県鍍金工業組合が常にあることを期待し、政治家「新藤義孝」の今後の大活躍を祈念したい。

技術委員長 饗場 功治



埼玉鍍金工業会 総会開催



されました。兼松精鍍工業(有) 島

摺いただきました。

目されており、色々と交流する機

村氏の「開会の辞」により、定期総会が開催され、まずは本日で任期終了となる渡辺会長より任期中の会員各位の協力に対する感謝の意と活動の総括についてご挨拶をいただきました。続いて石田電解研磨 石田氏より定足数が問題ない

「埼玉鍍金の会長職は私で23代目となるそうです。46年という長い歴史のある会に私の名前が刻まれると思うと恐縮し、その責の重さ余りある思いです。今季は『埼玉鍍金の活動から共に成長しよう』というテーマを挙げました。私自身埼玉鍍金は「成長の場」として参加させていただいております。私はこの

分の見方を変え、交流・商談のきっかけを掴む場所として活動を利用して欲しいと思います。皆様のご指導・ご支援をいただきながら頑張っていきたいと思っておりますので2年間宜しくお願いいたします。」

2014年6月14日(土)さいたま市大宮区の「料亭旅館新道山家」にて、埼玉鍍金の第45回定期総会が開催されました。当日は梅雨を忘

れるような30℃近い猛暑の中、33名と大勢の会員にご出席いただきました。定期総会は、司会進行 (株)小林鍍金工業 小林氏、議長 潮工業(株) 饗場氏により、議事進行がな

11年目となり、活動に参加する中で、沢山の例会・視察を通し勉強する中で、それらが本場に自分の成長に生かされていると感じます。仕事の場でもこの繋がりでご発注をいただくなど、本業でも繋がりが持つて良いと思ひ、皆様にもそう思ってもらいたいので、やりたいことをどんどん提案してもらい実現したいと考えております。埼玉鍍金の活動は全国の青年部からも注

次に、本総会をもって、現会長渡辺氏が任期満了となる為、役員改選が行われ、推薦により新会長として、(株)甲斐野テックス 甲斐野氏が満場一致の承認を受け第23代会長に就任され、次のようにご挨拶

収支決算報告、会計監査報告は監査役を代表して、(株)新硬クローム工業 新谷氏が行い、意見、異議もなく、本件は無事承認されました。

「45回ということで、私が8代目の会長を務めたのが30年前、皆さんの努力のおかげで脈々と埼玉鍍金会が続いており改めて嬉しく思います。50周年の折には親会も協力し

りご挨拶いただきました。

ました。

定期総会は、司会進行 (株)小林

鍍金工業 小林氏、議長 潮工業

(株) 饗場氏により、議事進行がな

会長の就任され、次のようにご挨拶

会長の就任され、次のようにご挨拶

会長の就任され、次のようにご挨拶



て盛大に執り行いたいと思いが、先ほど甲斐野会長から皆さんのやりたいことをと話が出ましたが、是非ひとつ海外研修を行っていただけないかと・・・これだけグローバルな時代なので百聞は一見にしかず、業界や団体で行かないと現地の事業所の内情は見れないと思います。年齢を重ねてから行くと身にならないので、若いときに海外を見ていただいたほうが勉強の効果が大きいと思われま

す。で、皆さんのご意見を汲み取り実行に移していただければと思います。」という大先輩としてのご助言をいただきました。

精硬クロム工業(株) 田中氏による「閉会の辞」で定期総会は無事に終了し、同宴会場にて、懇親会が開催されました。お忙しい中、ご来賓として、埼玉県鍍金工業組合から黒澤 吉田両副理事長、仁科顧問理事、会友の新藤様、阪本様にも御参加いただき、盛大な懇親会となりました。

まず、甲斐野会長からご挨拶をいただき

「23代続く埼玉鍍金の会長という重役を務めることになりましたが、これからも宜しくお願いいたします。

ところで、各会員様の大まかなめつき種のカテゴリーはわかるのですが、業務内容の細かいところまでは意外と知らないのではと思います。現在当会の役員同士はネットワークを作り相談し合う場

があるのですが、各会員様も自社の業務内容をこの場でアピールするのも良いかと思えます。来た話を逃さずに会員内でシェアできる仕事斡旋の場としても埼玉鍍金はすぐく使えるなど感じていきます。色々な埼玉鍍金の試みに参加していただき、事業のアピールもしてもらい、ネットワークを作るお手伝いができれば良いと思っております。皆さんのお力を貸していただきながら頑張っていくので、宜しくお願いいたします。」

続いて埼玉県鍍金工業組合 黒澤副理事長よりご祝辞の後、乾杯のご挨拶は会友の新藤様よりご発声いただき、和やかな歓談の時間を過ごしました。会中には会友会員の埼玉県鍍金工業組合仁科顧問理事にも一言いただきました。

また本年度は会員に変更があり、(株)三進製作所 吉村氏、(株)アイホー 滝澤氏、加えてオプザーバーにて初参加の(株)ハセベ 浅野氏よりご挨拶いただきました。今



後とも宜しくお願いいたします。

19時より開催された懇親会も瞬間に終わりに近づき、締めくくりに参加者全員で集合写真を撮り懇親会は解散となりました。埼玉県鍍金工業組合青年部「埼玉鍍金」は甲斐野会長を中心に参加会員全員が成長できるよう今後も有意義な活動を展開していく所存です。で、何卒応援宜しくお願いいたします。

『第23代 埼玉
甲斐野 嘉彦 新会長 挨拶』



この度、渡辺前会長の後任として第23代埼玉鍍金会会長を就任いたしました(株)甲斐野テックスの甲斐野嘉彦です。この歴史ある埼玉鍍金会の会長職を引き継がせていただくことになり、身が引き締まる思いです。諸先輩方が築かれてきたこの埼玉鍍金の名を汚さぬよう、努力していく所存です。皆様のご指導ご鞭撻を宜しく願います。

「質汚濁防止法」「めつき業のマーケティング戦略」などの勉強会や情報交換会、異業種との交流会、埼玉県議員との意見交換会などを行いました。視察研修旅行では、鹿児島に行きました。

今年も「埼玉鍍金の活動から共に成長しよう」を活動のテーマに掲げ、会員の皆様が、さまざまな活動を通じ、親睦を深め、社会人として鍛え、共に成長できる場を提供できるようにと役員一同頑張っております。

埼玉鍍金の活動は皆様のお力添えが必要です。なるべく多くの方に参加していただき、活動を知ってもらうことが必要と考えております。もし埼玉鍍金の活動に興味がある若手の方がいらっしゃいましたら、埼玉鍍金の会員会友や組合にお声掛けをお願いします。例会には体験参加も出来ますのでお気軽にどうぞ。

今度とも埼玉鍍金の活動にご理解とご協力をお願いします。

『水質汚濁防止法 改定のまとめ』

平成24年6月に施行された「地下水未然防止のための改正水質汚濁防止法」により、めつき施設などの構造基準への適合対応の猶予期限(平成27年5月末)まで残り数か月となりました。改正水質汚濁法の概要に關しては、もうすでに内容を理解していただいているかと思えます。ここでは、準備しておくべき資料及びめつき事業所で問題となりそうな事項について、本年5月発行の全鍍連機関紙の内容を参考にまとめましたので、ご確認ください。

の点検チェックシート」

(2)「有害物質使用特定施設等の使用の方法に關する管理要領」

(3)「構造基準の自主判定表」

各事業所において、構造基準のA、B、C基準の自主判定表を作成してください。こちらは、法律で義務付けられているものではありませんが、行政の担当者の立ち入り時 示すものです。各事業所においては基準判定の根拠を明確にし、担当者に説明できるような準備をお願いします。

2. めつき事業所で問題となりそうな事項

(1)被覆材に覆われていないコンクリートの床面や排水溝の解釈

1. 準備しておくべき資料(記録)
(1)「有害物質使用特定施設と設備

○コンクリート構造のみの排水溝に酸性やアルカリ性の溶液が流れる場合、容易に劣化するおそれがないと判断すれば、コンクリート上に不浸透性の被覆処理を施す必要はないと解してよいか

○または、容易に劣化するおそれがないもののなかに、洗浄水など希薄な溶液が流れる場合も加えて良いか

(環境省による講習会での解釈)

排水溝の材質が酸・アルカリによる劣化のおそれがあれば、被覆が必要となるが、容易に劣化するおそれがない場合には被覆の必要はない、としています。

たとえば、講習会の質疑応答では、pHの規定はできないが、必ずしも必要ではないとの意見交換がなされています。

(めっき事業所における対応)

「容易に劣化するおそれがない

場合には被覆の必要はない」こと「コンクリートそのものが不浸透性の材料である」との解釈がなされているので、単に被覆材がないことを理由に「構造基準がC基準」とはならないことを示すものと考えられます。

しかし、対策説明は必要であるので、滴下する水の成分や濃度等から直ちに地下に浸透する状況かどうか、または各事業所の構造(工場が建てられた耐用年数、施設の老朽化等)を判断して、被覆が必要かどうか、これまでの状況や経過に基づき、自ら判断し、基準に適合するかどうか、検討が必要です。

(2)コンクリートのひび割れの基準判断と点検が困難な場合

クラックは小さいうちに前もって補修することが基本だが、場合によっては経過観察を行うとされている

(環境省による講習会での解釈)

床面に見られたひびをクラックスケールで見ると0.8mmと測定したケースが紹介され、この場合、「経過観察した」との説明でした。

(めっき事業所における対応)

直ちに地下浸透する状況でないと判断すれば、経過観察をすることも一手法であると捉えられます。

目視点検ができない箇所(代替点検箇所(脆弱性の大きな箇所)とは

(環境省による講習会での解釈)

脆弱性とは…、「材質または、排水の性状、量、濃度によって異なるため、一概に定義するものではなく事業者が判断する」とあり、「基本はつなぎ目、バルブ、曲がり部」とされます。

(めっき事業所における対応)

配管や排水配管(排水溝)の脆弱

性の大きな部位として、目視可能な箇所にあるフランジ等のつなぎ目やバルブ部、エルボー等の曲がり部等が適当であると言えます。点検が困難な場合の代替措置として、代表的な部位(脆弱性の大きな箇所)の目視点検によって全体の基準適合性を推測することができるとなっています。

3. まとめ

この法律の構造基準の適合性の判定並びに定期点検の内容については、自主的・一義的に事業者に行うとされています。ゆえに各めっき事業所においては、自主判定した構造基準判定の根拠、妥当性について、事業者として説明することが重要となってきます。前述の各種資料(記録)と合わせ、今後の立ち入り検査に備え十分な準備をお願い致します。

彩の国ビジネスアリーナ 2015 開催決定！



毎年1月にさいたま新都心に、埼玉県の企業に向けて開催される展示会「彩の国ビジネスアリーナ」の今期のスケジュールが発表されました。

埼玉県鍍金工業組合としても集団で出展をするメリットを最大限活かし、2011年から連続して出展しています。年々出展企業数も増加するとともに、新規顧客獲

得をするためのアイデアや仕掛けなど魅力ある展示会とできるよ
うになってきています。

その効果もあつてか我々の「めっき関連ブース」を目的に来てくださる方、めっきについて詳しく勉強をされていかれる方なども増えていきます。そして最大の目的である新規顧客獲得に関しても毎年数件の獲得ができた報告を聞いています。昨年は1万6500名程の来場者があつたと聞いており、その会場の中でも我々の「めっき関連・表面処理のブース」は多くの方が足を止めていたと関係者の方からも注目をされているようです。

今回の開催に際しても、また皆さまの「めっきの力」を結集して、皆さまの企業と我々業界の発展を埼玉から発信していきたいと思っております。

彩の国ビジネスアリーナ 2015 開催概要

会期 2015年
1月28日(水) 10:00～18:00
1月29日(木) 10:00～17:00

会場 さいたまスーパーアリーナ
(さいたま市中央区新都心)

内容 展示ブースにおいて、自社の製品や技術力、サービスなどを積極的にアピールするなど、来場



者や他の参加者との情報交換商談などを行っていただきます。

詳細 彩の国ビジネスアリーナ 2015 ホームページ

<http://bizmatch.saitama-j.or.jp/>

申込 2014年11月頃までに、埼玉県鍍金工業組合へ

問合せ先 埼玉県鍍金工業組合 担当 技術委員会

お気軽にお問い合わせください。

公益財団法人埼玉県産業振興公社
「埼玉県よろず支援拠点相談支援
のご案内」

埼玉県産業振興公社では、経済産業省・中小企業庁の中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業「よろず支援拠点」事業を受託し、この6月から、大宮ソニックスティ10階の公社事務所内にオープンいたしました。

この事業を受け、埼玉県よろず支援拠点では、県内工業、商業、サービス業等の事業者様に対して、新商品やサービスの開発から販路開拓まで、経営上のあらゆるお悩みの内容を無料でアドバイスさせていただきます。

相談については、中小企業支援に特に優れた能力・知見・実績等を有する専門コーディネーター11名が対応します。
売り上げ拡大や経営改善、新商品開発等で、日頃お困りの課題に

対して幅広くご支援することを目標としており、会所以来すでに400件を超える相談が寄せられ、事業再編相談や商品パッケージのデザイン相談など、拠点のメンバーが鋭意ご対応させていただいています。

経営上のお悩みがありましたら、まずは、お気軽にご相談ください。

連絡先

埼玉県よろず支援拠点事務局

〒330-8669

さいたま市大宮区

桜木町1-7-5

ソニックスティビル10F

TEL 0120-973-248

FAX 048-645-3286

ホームページ

<http://www.saitama-j.or.jp/kikaku/yorozu/>

訃報

押尾 新一さん

押尾化学工業(株)

取締役社長 押尾久雄氏 ご尊父

平成26年6月29日 逝去

享年91歳

柳澤 カネさん

(株)サニー電化

代表取締役 柳澤秀和氏 ご母堂

平成26年6月30日 逝去

享年89歳

松尾芭蕉が立ち寄った「草加宿」

草加せんべい発祥の地、埼玉県草加市。「おくのほそ道」で有名な松尾芭蕉は江戸・千住を出発して日光街道を進み、ここ草加宿に辿りつきました。旧日光街道沿いには宿場町の雰囲気がかしこに再現されています。

松尾芭蕉像

近くにはいっしょに旅をしたという曾良(そら)さんの像もあります。

松並木

街道といえば、松並木。綾瀬川沿い約1・5kmに松並木が続きます。間には、百代橋(おくのほそ道)の冒頭「月日は百代の過客にして……」に由来)と矢立橋があります。美しい景観に華を添えています。

印刷

保証企画工芸株式会社

〒110-0012

東京都台東区竜泉1-4-3

TEL 03(3875)1641



編集後記